

シラバス参照

大学院科目	経済史特論	学部科目	
科目名/Subject		科目名/Subject	経済史特殊講義
担当教員/Instructor	小田中 直樹	曜日・講時/Day/Period	前期 木曜日
曜日・講時/Day/Period	前期 木曜日 2講時	日 2講時	
対象学年 /Eligible Participants	全/All	対象学年 /Eligible Participants	3・4
科目ナンバリング /Course Numbering	EEM-ECO511J	科目ナンバリング /Course Numbering	EAL-ECO370J
単位数/Credit(s)	2	単位数/Credit(s)	2

授業の目的 と概要 /Object and summary of class	<p>しばしば「経済史」と呼ばれる社会経済史学の方法について考えます。とくに、経済理論との関係、歴史の見方などについて、集中的に考えたいと思います。</p> <p>This course intends to analyze the methodology of socio-economic history, usually called "economic history," relation with economic theories and how to see the history in particular.</p> <p>次の3点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会経済史学とはいかなる学問領域かについて、一定の知識を得ること。 ・社会経済史学と諸経済理論との関係について、一定の見通しを得ること。 ・具体的な社会経済史に対するアプローチについて、一定の理解を得ること。 <p>1. To get the knowledge over the characteristics of socio-economic history as a discipline. 2. To understand the relation between the socio-economic history and economic theories. 3. To have certain knowledge about the approach to the socio-economic historical facts.</p>						
学修の 到達目標 /Goal of study	<p>1. To get the knowledge over the characteristics of socio-economic history as a discipline. 2. To understand the relation between the socio-economic history and economic theories. 3. To have certain knowledge about the approach to the socio-economic historical facts.</p>						
授業内容・ 方法と 進度予定 /Contents and progress schedule of the class	<p>・日本の社会経済史学は、ながらマルクス派の経済理論と接点を持ちながら展開されてきました。その背景には、この経済理論が「時間」というモメントを重視し、それゆえ社会経済史学をはじめとする歴史学と親和的だったという事情があります。</p> <p>・ただし、第2次世界大戦後における開発経済学や経済成長論の展開に伴い、いわゆる新古典派の経済理論もまた社会経済史学と接点を持つようになってきました。この授業では、そのような状況に対応し、新古典派経済理論との接点を意識して執筆された(おそらく)日本初のテキストブックを、教科書として用います。そのうえで、教科書の内容を分析することを通じて、先に挙げた到達目標を達成することを図ります。</p> <p>・授業では、小田中による講義の回と、課題発表&コメントの回を、交互におこなう予定です。なお詳細は、初回の授業の際に説明します。</p> <p>This course composes of the lecture and the discussion. The detail will be explained on the occasion of the first lecture.</p>						
実務・ 実践的授業 /Practical business	<p>※○は、 実務・実践的 授業であることを示す。 /Note: "○" Indicates the practical business</p>						
使用言語 /Language Used in Course	日本語 Japanese						
成績 評価方法 /Evaluation method	授業中に5~7回提出してもらった課題の評価を合計して最終評価します。						
教科書 および 参考書 /Textbook and references	No	書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
	1.	『コアテキスト-経済史・増補版』	岡崎哲二	新世社	2016		
関連URL /URL							
授業時間外 学修 /Preparation and Review	講義内容を理解し、課題にとりくむことが、予習と復習を兼ねることになります。						
添付 ファイル /Attached File							
その他 /In addition	<p>・テキストは、必ず購入するか図書館などで借りて持参してください。コピーを持参したり教科書を持たずに出席したりした場合は、履修放棄とみなします。</p> <p>・新古典派およびマルクス派の経済理論について初級程度、つまり必要最小限の知識を有していることが必要です。質問などあれば、遠慮なく小田中 (odanaka@tohoku.ac.jp, 022-795-6280) まで連絡してください。ちなみにオフィスアワーは水曜日の昼休みです。</p> <p>Basic knowledge of neo-classical economics and of Marxian economics is necessary.</p>						